

学生と地域のつながり

～【前編】学生の発想が、地域に新たな価値をもたらす～

八王子市および周辺地域には 25 を超える大学のキャンパスがあり、学生たちはそれぞれの大学で、或いは大学を超えてさまざまな活動を展開し、地域に新しい価値をもたらしています。「Support802」では、今号と次号の 2 号連続で、学生による地域活動の特集します。

創価大学理工学部共生創造理工学科 丸田ゼミ

私達のゼミでは、八王子の地域活性化へ貢献するために、八王子特産”高月清流米”に注目しました。そして八王子の生産農園、製パン企業と連携して、米加工食品・米パンの製品開発と宣伝・販売を行っています。

<https://www.soka.ac.jp/news/2018/01/2645/>



※大学コンソーシアム八王子 平成 29 年度学生企画事業補助金採択団体



東京造形大学 AR 班

2017 年 12 月まで実施された、『昔の八王子をスマホにカムバック』をコンセプトに、東京造形大学メディアデザイン専攻領域の学生で AR イベントを企画・運営しました。

http://www.zoomedia.sakura.ne.jp/project/hachicome_web/index.html



※大学コンソーシアム八王子 平成 29 年度学生企画事業補助金採択団体



「八王子朝市」における、Made in 石巻の雑貨「Puchinya」の販売（はちおうじ子ども食堂）

創価大学の学生が中心となり活動している「はちおうじ子ども食堂」は、通常の子どもの食堂の運営のほか、ウェットスーツの素材を活用し宮城県石巻市で制作された雑貨「Puchinya」の販売を、八王子朝市で行っています。

<http://kodomohachi.wpblog.jp/>



中央大学「チーム防災」

防災意識向上のためにチーム防災は 2015 年に発足しました。日野市内の防災訓練に参加したり、大学内でイベントを開催したり、防災を身近に感じてもらえるような活動を行っています。 <https://chuo-u-teambosai.themedia.jp/> Twitter: @teambosai facebook: @chuovolunteercenter



八王子学生委員会の活動にもご注目ください！～第 13 回「★学生天国★」開催！～

八王子学生委員会は、大学コンソーシアム八王子に加盟する 25 の大学・短大の学生が中心となり、大学を超えて八王子地域全体に学生の地域活動を発信する活動を行っている委員会です。八王子いちよう祭り学生広場の運営、情報誌「Hello, Hachigaku!」発行のほか、大学コンソーシアム八王子加盟 25 大学の合同学園祭「★学生天国★」を主催しています。今年で 13 回目を迎える「★学生天国★」も、以下のとおり開催が決定しました！ぜひ足をお運びいただき、学生たちのエネルギーを感じてみてください。

- ・日時：2018 年 5 月 13 日（日）10:00～16:00
- ・会場：JR 八王子駅北口西放射線ユーロード及び三崎町公園、中町公園、横山町公園
- ・内容：加盟大学紹介ブース、活動紹介展示、作品販売、音楽・ダンス等のステージなど
- ・お問い合わせ：八王子学生委員会事務局（TEL:042-646-5740 Twitter:@HSC_gakuten）



学生と地域をつなぐ 大学ボランティアセンター

～中央大学・明星大学を中心に～

1995年、阪神・淡路大震災が発生し、多くのボランティアが被災地へ駆けつけ、復興に向けた活動を展開しましたが、活動者のうちのおよそ4割が大学生でした。それまで、学生のボランティア活動を支援する体制は大学に整備されていませんでしたが、被災地域に近かった京阪神地区の大学に震災後、ボランティアセンターが相次いで開設され、2018年1月現在、日本全国に170の大学ボランティアセンターが発足しています。

大学ボランティアセンターとはどのようなところなのでしょう。今回は、中央大学多摩キャンパスと明星大学のボランティアセンターを訪問し、それぞれの特色を紹介すると共に、大学ボランティアセンターや大学生のボランティア活動を取り巻く状況についてまとめました。

●東日本大震災の復興支援活動から地域へ ～中央大学ボランティアセンターと学生の取り組み～

中央大学多摩キャンパスでは、2013年にボランティアステーションが発足。翌2014年よりボランティアセンターに改称され、大学学生課の一角にスペースが設けられています。

中央大学ボランティアセンターでは、東日本大震災の復興支援活動を主に行う「被災地支援学生団体」が複数存在し、宮城県気仙沼市や女川町、岩手県宮古市で活動を展開し、多くの団体は現在も活動を継続しています。また、2016年の熊本地震後には、新たに熊本で活動を行う団体も発足しました。

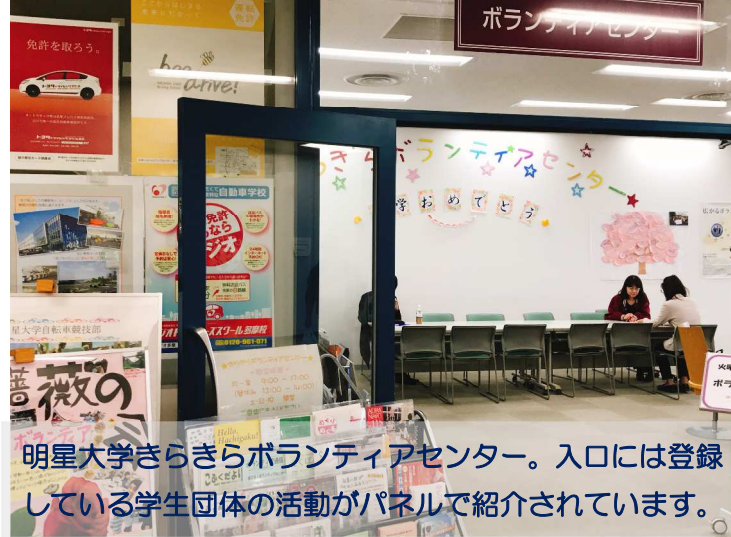
被災地支援学生団体が活動を積み重ねる中で、大学周辺の地域に目を向けて活動する学生が増えてきました。被災地支援学生団体の1つで、岩手県宮古市で活動する「はまぎくのつぼみ」は、大学周辺地域のイベントに積極的に参加しながら岩手県の物産品の販売活動を行い、また近年誕生した団体「チーム防災」は、地域住民の方と共に避難所運営ゲーム「HUG」などを実施し、防災を学生の目線で身近に感じられるような提案を地域に向けて行っています。

●学生の輝きを引き出し、地域との縁を紡ぐ ～学生に寄り添いサポートを続ける「きらぼ」～

明星大学には「きらきらボランティアセンター」（きらぼ）と愛称の付けられたセンターが2008年に発足しま



岩手県宮古市で活動する中央大学被災地支援学生団体「はまぎくのつぼみ」は、地域のイベントに積極的に参加しています。



した。センターを訪れると、学生たちのフリースペースを利用し活動する団体など、自然と学生たちの目にボランティア情報が入るようにするなどの工夫がなされています。

ボランティアセンターには、海外ボランティアを行う団体や、子どもたちと関わる活動を行う団体、手話サークルなどが登録していますが、ダブルダッチサークルや自転車競技部のように、一見ボランティア活動とは関係のなさそうに見える団体も名を連ねています。ダブルダッチサークル「Shakin Key!!」は、競技の実力も世界大会で準優勝をする選手を輩出するほどの実力派ですが、地域活動にも積極的に参加し、日野警察署より交通事故防止寄与団体として感謝状が贈られています。自転車競技部は、日野市の自動車教習所で自転車教育活動を行うなど、自分たちの活動の中でできる形での社会貢献活動を展開しています。

学生が普段行っていること、好きなこと、得意なことを地域に還元する。柔軟な発想と素直な気持ちで地域での活動を楽しむ学生と、学生に寄り添い地域と結びつけるコーディネーターの存在が、学生による新たな発想の地域活動を生み出しています。

●大学によって異なる学生ボランティア活動支援の現状

ここまで述べてきたようなボランティアセンターが設置されていない大学でも、学生課や地域連携担当などの部署においてボランティア情報を学生に届けている大学や、教員が自主的に情報を収集・発信している大学もあります。また、学生たちがサークル等の形態でボランティアセンターを運営しているところや、大学にボランティアセンターの設置を呼びかける行動をしているところもあります。

大学によって、学生のボランティア活動支援を取り巻く状況は異なっていますが、地域に関わりたい、いろいろな人とのつながりを築きたいと考える学生は、大学を問わず存在します。地域の側でも、そうした学生にどう寄り添い、どのようなサポートが望まれるかを大学・学生と一緒に考えていきたいものです。

- 中央大学ボランティアセンター

<http://www.chuo-u.ac.jp/usr/volunteer/>

- 明星大学きらきらボランティアセンター

<https://www.meiseiu.ac.jp/support/volunteer.html>

まちの
スポット

HERO-BAR

ひろば



八王子駅南口徒歩 5 分の場所に、学生経営の古民家バー、HERO-BAR(ヒロバ)があります。
 私たち学生は毎週「金・土」の夜を営業日とし、カンボジアの地ビールをはじめ、採れたて野菜でつくるおつまみを日替わりでお出ししています。
 学生も大人も集まって語り合えるヒロバです。
 ぜひ、ご来店ください。おまちしております

HERO-BAR ひろば
 八王子市子安町 1-9-3
 Instagram : herobar.herobar
 営業日：毎週金曜日・土曜日の
 18:00~23:30
 (ラストオーダー23:00)
 運営：NPO 法人 HERO 学生部

ゆめおりファンドより物品提供のご報告

昨年度末に東海高熱工業株式会社様の本社移転に伴い、120 点以上の物品をご寄付いただき、6 団体の皆さまに机、テーブル、椅子、鋼製棚、冷蔵庫、電子レンジ、レターケース等 60 点近くを提供いたしました。

提供した団体さんから以下のような活用状況の報告をいただき、寄付元にお伝えしました。

「ゆめおりファンド」は、市民活動団体の皆さまのニーズに応えられるよう努力してまいります。



※ 市民団体に提供されたショーケース

《団体さんからの声》

- 「ご提供いただきました什器類をいちょう祭りにて有効に活用させて頂いております。深く感謝申し上げます。」
- 「たくさんの良い物品を支援いただき誠にありがとうございました。棚は、搬入後すぐに組み立てを終わらせ、早速、利用させて頂いております。」
- 「先日は大変貴重な商品を、ご支援いただきありがとうございました。ショーケースはクラブで獲得したトロフィーや賞状などを飾りたいと思っています。沢山のトロフィーを飾れるように、これからも切磋琢磨していきたいと思っています。」

助成金情報

詳しくは、NPO さぼーと 802 にお問合せいただくか、はちコミねっとのサイトをご覧ください

名称	主催	助成対象	助成金額	締切
公益信託オラクル有志の会ボランティア基金	日本オラクル有志の会	社会貢献活動	上限 100 万円	5/21 (月) 必着
老後を豊かにするボランティア活動資金助成	公益財団法人みずほ教育福祉財団	高齢者対象の活動	上限 10 万円	5/25 (金) 必着
東京パチンコ・ボランティア基金	東京都遊技業協同組合	青少年の健全育成活動	30 万円以内	5/25 (金) 消印有効
ニッセイ財団高齢社会助成	公益財団法人日本生命財団	介護・福祉事業	上限 400 万円 (年間 200 万円)	5/31 (木) 消印有効
木下財団助成	社会福祉法人木下財団	障がい者支援	上限 30 万円 (総額 800 万円)	5/31 (木) 必着
配食用小型電気自動車寄贈事業	公益財団法人みずほ教育福祉財団	高齢者向け配食サービス	100 万円 (自動車 1 台分)	6/8 (金) 必着
草の根育成助成	公益財団法人草の根事業育成財団	医療・福祉分野、スポーツ・コミュニティ作り	上限 100 万円	6/11 (月)
ヨネックススポーツ振興財団助成金	公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団	青少年のスポーツ振興	上限 100 万円	6/20 (水) 消印有効

日時：6月29日(金) 14:00~16:00
 会場：NPO さぼーと 802 活性化スペース
 (八王子市市民活動支援センター)
 講師：地域 ICT 利活用研究会 会員の皆さん
 参加費：無料
 定員：12名



だまされない!

ネットを楽しく
ネットのマナー

ウィルス
感染予防!

申込：Eメールに、「6/29 ネット講座」、氏名
 (ふりがな)、電話番号を書いて6/7(木)(必着)
 までに npo802@shiencenter-hachioji.org
 宛に送信してください。
 ※締切後も席に余裕があれば申込受付ます。
 問合せ先：NPO さぼーと 802 (042-646-1577)
 主催：NPO さぼーと 802

予告

『NPO法人設立の基礎』講座 7月1日(日) 13:30~16:00、学園都市センターにて開催!

詳細は、6月以降、NPOさぼーと802のホームページをご覧ください。

NPO・市民活動イベント情報

詳細については、各団体にお問合せ下さい (参加費=参、定員=定、対象=対)

イベント	日時	会場	内容	主催	申込先	備考
マジック入門講座	5/11(金) 5/25(金) 以降毎月 第2,4金曜日 19:00-20:30	台町 市民センター	マジックを習得して施設 サロン等で地域活動に貢 献しましょう	八王子マジシャン クラブ	080-5520-2317 (安藤)	定:10名 参:2000円/ 毎月
第3回 マルベリーハート フルフェスタ	5/12(土) 13:00-16:00	クリエイト ホール 5F	障害者を主体とした音楽 イベント 木下航志氏:障害をもちな がらプロとして活躍し ているミュージシャン	マルベリー東京 パイロットクラブ	090-1731-3771 FAX: 042-663-1028 riety1003@yahoo. co.jp(吉澤)	定:175名 参:500円
フロアホッケー・ プログラム	5/13(日) 5/19(土) 6/2(土) 12:00-14:50	富士森体育館 分室	知的障害のある人たちが 「フロアホッケー」とい うスポーツの練習をします	認定NPO法人 スペシャルオリ ンピックス 日本・東京	TEL/FAX: 03-6380-3135 info@son-tokyo. or.jp	定:5名程度 参:なし 要登録手続
裏高尾でオオルリ を探す会	5/13(日) 8:30-12:00	集合場所; 小下沢林道入 口(中央高速道 路ガード下)	公開探鳥会;小下沢林道を 歩きながらオオルリ等夏 鳥を観察します。	八王子・日野 カワセミ会	090-6125-5769 (粕谷)	参:200円 (保険代等)
第6回 拓け! センター元気	5/17(木) 12:00-17:00	いちよう ホール	八王子センター元気の登 録ボランティアによる歌、 踊り、演芸等の披露および 折り紙、手芸等の活動紹介	八王子 センター元気	TEL/FAX 042-627-9179 (梶山)	定:280名 参:無料
野鳥の写真・絵画 カービング展	5/20-5/27(日) 10:00-17:00	クリエイト ホール 5階展示室	カワセミ会会員の作品 野鳥の写真・絵画・ カービングの展示	八王子・日野 カワセミ会	090-6125-5769 (粕谷)	参:無料
高次脳機能障害者 家族会 はっちゃん 特別講演会 &第2回総会	5/20(日) 13:00-15:30	北野 市民センター 8階ホール	講演:高次脳機能障害との 上手な付き合い方 講師:橋本圭司氏 第2回総会	はちおうじ 高次脳機能障害者 家族会 はっちゃん	042-666-5882 メール: Hacchan.koujinou @gmail.com	参:無料 定:150名 対:どなた でも
不安の対処法を身 につける 「森田理論 ガイダンス」	6/23(土) 14:00-17:00	八王子 労政会館 3F サークル室	不安症の人のための「森田 療法」初心者向け入門講座	NPO法人 生活の発見会	090-1849-9581 tokyoablock27@gm ail.com (安田)	定:20名 参:500円

ボランティア情報

ボランティアの名称	活動内容・条件等	申し込み・問い合わせ先
知的障害のある人のス ポーツ「フロアホッケー」 の練習サポート・ ボランティア	知的障害のある人たちのスポーツ活動を支援する「スペシ ヤルオリンピックス日本・東京」。活動の一つである「フ ロアホッケー」を一緒に楽しみながら、練習をサポートし ます。高校生以上で団体への登録が必要。	TEL:03-6380-3135 FAX:03-6380-3136 メール:info@son-tokyo.or.jp 認定NPO法人スペシャルオリンピックス日 本・東京 (増田、峰岸)



NPO さぼーと 802 はちおうじ
 〒192-0083 八王子市旭町1-2番1号フルマル802ビル5階
 TEL:042-646-1577 FAX:042-646-1587

http://www.shiencenter-hachioji.org/
 http://hachioji.komi.ganki365.net/
 npo802@shiencenter-hachioji.org

開館時間 10時~21時 日 祝は17時まで
 休館日 月曜日 祝日の場合は翌火曜日
 指定管理者 特定非営利活動法人八王子市民活動協議会